

2026（令和8）年度

社会人聴講生募集要項
（継続出願者用）

専修大学経済学部

開設趣旨

近年、「社会人」として、また「職業人」として社会的な経験を重ねるなかで、その経験を整理し、系統づけるために、大学での学びを望む人々が増えています。

経済学部では、こうした生涯学習・成人教育に対する社会の要望に応えるために、向学心に富む社会人・職業人を対象とする聴講生制度を開設し、以下の要項で募集します。

1. 募集について

(1) 募集人員 若干名

(2) 出願資格

- ①経済学に対する強い関心または向学心を持ち、社会人聴講生として勉学を強く希望する方。
- ②高等学校卒業程度の学力を有する方。
- ③大学に登校し、対面授業へ出席することに対して、不安のない方。
※留学ビザ又は就学ビザで入国した者は出願することはできません。
- ④「パソコン」や「スマートフォン」を所持し、自宅等でインターネットに接続でき、その操作に自信のある方。
- ⑤本制度の趣旨を理解し、本学学則をはじめとした規則等を遵守できる方。

(3) 聴講期間

聴講を許可された年度に限るものとします。ただし、願い出により1年に限り面接試験が免除され、聴講を許可される場合があります。(改めて出願は必要です)。

※2026(令和8)年度に延長が可能なのは、聴講生番号が「経社聴25」から始まる方です。

(4) 開講科目

詳細は後掲の「学科別開講科目一覧」をご参照ください。

(5) 成績

聴講期間終了後に、成績通知書を交付します(単位認定は行いません)。

(6) 各種日程

①出願期間

2026(令和8)年1月26日(月)～2月13日(金) (締切日消印有効)

②選考結果発表

2026(令和8)年3月11日(水) ※郵便にて通知

③手続期間

2026(令和8)年3月11日(水)～3月16日(月) (締切日消印有効)

2. 出願について

(1) 出願方法

郵送受付のみ（締切日消印有効）。

必ず一般書留で、後述の出願書類をそろえて送付してください。

(2) 出願書類

①社会人聴講生願書（所定の用紙）

※専修大学経済学部社会人聴講生のホームページよりダウンロードしてください。

②写真2枚（縦4cm × 横3cm）

※1枚は願書に貼付し、もう1枚は、願書にクリップ等で留めてください。

※同写真は、本学経済学部社会人聴講生としての証明となる「社会人聴講生証」の写真として使用いたします。

③住民票1通（外国籍の方は在留資格等の区分を明記すること）

④「選考料」の振込明細書（振込控）等のコピー

(3) 選考料

5,000円

以下の指定口座に銀行（ATM・インターネットバンキング可）から振り込んでください。

その際、振込依頼人名は志願者本人の氏名とし、氏名（カタカナ）の前に『SE』と入れてください。

例) SE センシュウ タロウ

銀行名	支店名	預金項目	口座番号	口座名
横浜銀行	登戸支店	普通	1080143	ガク (学) センシュウダイガク 専修大学

【注意事項】

- ・振込後、振込明細書（振込控）等のコピーを出願書類に同封してください。
- ・振込手数料は、振込依頼人負担でお願いいたします。

(4) 送付先

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 専修大学 教務課経済学部

(5) 受験票送付

出願書類受理後、受験票を送付します。

選考結果が届くまで、大切に保管してください。

3. 選考から手続きまで

(1) 選考方法

書類選考のみ

選考にあたっては、出願書類の内容を踏まえつつ、過年度の聴講状況を踏まえ、総合的に評価します。

※以下の事柄に該当する聴講希望者に対しては、面接を実施する場合がございます。実施となる際は改めてご連絡します。なお、面接は2月28日(土)9:50集合を予定しています。

①「ゼミナール」の聴講希望をする場合

②過年度の聴講期間の状況により、聴講を継続するにあたって確認が必要となる事柄がある場合

(2) 選考結果

2026(令和8)年3月11日(水)付の郵便で通知します。

[注] 可否についての問い合わせには一切応じられません。

(3) 手続方法

選考結果を含めた書類を郵送いたします。聴講許可者に対しては、以下の書類が封入されておりますので、手続要領を精読の上、必要書類を手続き期間内に一般書留で郵送(締切日消印有効)してください。

なお、期間内に手続きをしない場合は、聴講を辞退したものとみなします。

①経済学部社会人聴講生 手続要領

②経済学部社会人聴講生許可通知

③経済学部社会人聴講生 履修届

④経済学部社会人聴講生 誓約書

⑤経済学部社会人聴講生ガイダンスについて

(4) 聴講料 1科目につき、6,000円(手続期間に納入(銀行振込)ください。)

(5) 計算機利用料 2,000円(手続期間に納入(銀行振込)ください。)

(6) 手続完了後

手続完了者には、3月下旬(予定)に実施するガイダンスの案内を送付します。ガイダンスでは「社会人聴講生証」の交付および聴講に関わる資料を配付します。

【注意事項】

①一度納入した選考料、聴講料、計算機利用料および提出した書類は、いかなる理由があっても返還できません。

②許可された聴講科目の削除や修正、新たな聴講科目の追加は認めません。

4. ノートパソコン・通信環境の用意について（推奨スペック等）

本学では、BYOD（Bring Your Own Device：個人が所有するノートパソコンをキャンパスでの授業等で利用すること）を導入しており、ご自身が持ち込んだパソコンを実習、課題作成、オンライン授業の受講、VDI（Virtual Desktop Infrastructure：仮想デスクトップ基盤）やLMS（Learning Management System：学修管理システム）の利用など、在学中の様々な場面で活用することになります。

また、本学ではオンライン授業を開講しており、聴講科目によってはオンラインでの聴講となる可能性がございます。

学生向けではございますが、快適にオンライン授業を受講できる推奨スペックを以下のホームページでご案内しておりますので、新たにパソコン、インターネット環境を準備いただく際、ご確認の上、ご検討ください。

https://www.senshu-u.ac.jp/visitor/for_new_students/

※右のQRコードからもアクセスできます

※パソコン、スマートフォンでご覧いただけます。



5. 聴講資格の取り消しについて

聴講の許可後であっても、以下の（１）～（４）に該当する事柄に該当し、社会人聴講生として不適当と認められた場合には、聴講期間の途中でであっても当該年度の社会人聴講生としての資格を取り消すことがあります。

なお、この場合、納付した選考料、聴講料、計算機利用料および提出した書類は、いかなる理由があっても返還できません。

- （１）本学則その他の本大学の諸規程に反した場合
- （２）聴講する講義において、教員の指示に従わず、円滑な講義の進行を妨げる場合
- （３）社会人聴講生として不適当な行動（聴講とは異なる目的での授業への参加、学内施設・サービス等の利用および不要な学生への接触を行っている判断された場合や教職員・学生等に対する迷惑行為がなされた場合等）を行った場合
- （４）その他、専修大学に対して不利益ならびに損失を伴う行為を行った場合

6. 問い合わせ先

専修大学教務課（経済学部）

TEL 044-911-1257（経済学部直通）

窓口 平日 9：00～17：00 / 土曜、日曜、祝日、その他入学試験実施日等は窓口を行っておりません。

メールアドレス ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp

7. 開講科目一覧について

(1) 開講科目一覧

2026（令和8）年度 開講科目一覧は、次頁以降を参照してください。

(2) 講義要項（シラバス）について

講義内容の参考として、2025 年度版の講義要項（シラバス）が、本学HPで閲覧できます。ただし、必ずしも 2026 年度の内容（曜日・時限・担当者等）と一致するものではありません。

また、新規開講や科目名称変更等の理由により、情報の無い授業科目がある場合がございます。閲覧の際にはご注意ください。

<https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/sptop.do>

※右のQRコードからもアクセスできます

※パソコン、スマートフォンでご覧いただけます。



(3) 授業運営方法（対面・オンライン）について

本学では、授業運営方法に関わらず、授業に必要な情報の発信および資料の配布に「in Campus」や「Google Classroom」を利用している他、オンライン授業においては「Google Meet」等のビデオ会議アプリを使用する場合がございます。

また、授業運営上の都合により、授業運営方法（対面・オンライン）を一部切り替えて授業を実施する場合がございます。予めご了承ください。

(4) 事前に確認の必要な科目について

「ゼミナール」および科目名に「※注」の記載がある科目の聴講を希望（前年度から継続して聴講を希望する場合も含む）する場合は、事前に教務課経済学部（TEL:044-911-1257）に必ずご連絡ください。

(5) 授業に関する変更について

掲載している開講科目一覧は、本要項作成時点の情報となります。

やむを得ない事情により、曜日・時限・担当教員・授業運営方法等が変更になる場合がございます。変更が生じた際は、教務課経済学部よりご連絡をいたします。

【現代経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
現代経済基礎	前期	水3	中村 吉明	対面
現代経済基礎	前期	木2	河藤 佳彦	対面
経済学入門	前期	水3	森 啓明	対面
経済学入門	前期	木1	森 啓明	対面
経済学入門	後期	金4	真殿 誠志	対面
ミクロ経済学入門	後期	月1	高原 豪	対面
ミクロ経済学入門	後期	水3	高原 豪	対面
マクロ経済学入門	後期	木1	古賀 麻衣子	対面
マクロ経済学入門	後期	水3	古賀 麻衣子	対面
経済数学基礎	前期	火1	鈴木 将覚	対面
経済数学基礎	前期	火1	鈴木 将覚	対面
経済数学基礎	前期	火2	金 榮慤	対面
経済数学基礎	前期	火2	金 榮慤	対面
経済数学基礎	前期	火1	真殿 誠志	対面
経済数学基礎	前期	火1	真殿 誠志	対面
経済数学基礎	前期	火2	吉田 雅明	対面
経済数学基礎	前期	火2	吉田 雅明	対面
統計学基礎	後期	火1	真殿 誠志	対面
統計学基礎	後期	火1	真殿 誠志	対面
統計学基礎	後期	火2	中西 泰夫	対面
統計学基礎	後期	火2	中西 泰夫	対面
統計学基礎	後期	火1	森 啓明	対面
統計学基礎	後期	火1	森 啓明	対面
統計学基礎	後期	火2	真殿 誠志	対面
統計学基礎	後期	火2	真殿 誠志	対面
ミクロ経済学1	前期	火1	中西 泰夫	対面
ミクロ経済学2	後期	火1	中西 泰夫	対面
ミクロ経済学1	前期	金2	鈴木 将覚	対面
ミクロ経済学2	後期	金2	鈴木 将覚	対面
マクロ経済学1	前期	水3	奴田原 健悟	オンライン
マクロ経済学2	後期	水3	奴田原 健悟	オンライン
マクロ経済学1	前期	水4	奴田原 健悟	オンライン
マクロ経済学2	後期	水4	奴田原 健悟	オンライン
統計学1	前期	水2	新兼任	対面
統計学2	後期	水2	新兼任	対面
統計学1	前期	火3	新兼任	対面
統計学2	後期	火3	新兼任	対面

【現代経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
ゲーム理論 1	前期	月3	石原 秀彦	対面
ゲーム理論 2	後期	月3	石原 秀彦	対面
経済数学 1	前期	木2	新兼任	対面
経済数学 2	後期	木2	新兼任	対面
近代経済学史 1	前期	木2	吉田 雅明	オンライン
近代経済学史 2	後期	木2	吉田 雅明	オンライン
日本経済論 1	前期	月2	櫻井 宏二郎	対面
日本経済論 2	後期	月2	櫻井 宏二郎	対面
日本経済論 1	前期	水3	田中 隆之	対面
日本経済論 2	後期	水3	田中 隆之	対面
経済政策 1	前期	金1	新兼任	対面
経済政策 2	後期	金1	新兼任	対面
財政学 1	前期	木1	中野 英夫	対面
財政学 2	後期	木1	中野 英夫	対面
金融論 1	前期	月2	山中 尚	対面
金融論 2	後期	月2	山中 尚	対面
企業経済学 1	前期	月2	森田 公之	対面
企業経済学 2	後期	月2	森田 公之	対面
産業組織論 1	前期	水2	金 榮愨	対面
産業組織論 2	後期	水2	金 榮愨	対面
国際経済論 1	前期	水1	小川 健	対面
国際経済論 2	後期	水1	小川 健	対面
中級ミクロ経済学 1	前期	水3	石原 秀彦	対面
中級ミクロ経済学 2	後期	水3	石原 秀彦	対面
中級マクロ経済学 1	前期	水2	古賀 麻衣子	オンライン
中級マクロ経済学 2	後期	水2	古賀 麻衣子	オンライン
計量経済学 1	前期	金2	真殿 誠志	対面
計量経済学 2	後期	金2	真殿 誠志	対面
経済統計論 1	前期	水3	稲葉 大	対面
経済統計論 2	後期	水3	稲葉 大	対面
進化経済学基礎	前期	金2	吉田 雅明	対面
進化経済学応用	後期	金 2	吉田 雅明	対面
経済成長論 1	前期	金2	中西 泰夫	対面
経済成長論 2	後期	金2	中西 泰夫	対面
公共経済学 1	前期	月3	鈴木 将覚	対面
公共経済学 2	後期	月3	鈴木 将覚	対面

【現代経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
地方財政論 1	前期	月2	中野 英夫	対面
地方財政論 2	後期	月2	中野 英夫	対面
地域経済論 1	前期	水1	河藤 佳彦	対面
地域経済論 2	後期	水1	河藤 佳彦	対面
金融政策 1	前期	火2	武藤 一郎	オンライン
金融政策 2	後期	木3	田中 隆之	対面
産業政策論	後期	水1	中村 吉明	対面
労働経済学 1	前期	水2	櫻井 宏二郎	対面
労働経済学 2	後期	水2	櫻井 宏二郎	対面
中堅企業論	後期	木5	新兼任	オンライン
ベンチャー企業論	前期	木5	新兼任	オンライン
企業金融論	前期	金3	山中 尚	対面
証券投資論	後期	金3	山中 尚	対面
情報経済論 1	前期	木3	高原 豪	対面
情報経済論 2	後期	木3	高原 豪	対面

【生活環境経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
経済へのアプローチ	前期	水2	恒木 健太郎	対面
経済へのアプローチ	前期	金4	清水 真志	対面
経済へのアプローチ	前期	木1	森原 康仁	対面
生活環境と経済	後期	月3	小池 隆生	対面
生活環境と経済	後期	月3	森 啓輔	対面
生活環境と経済	後期	月3	日臺 健雄	対面
生活環境と経済	後期	月3	栗原 耕平	対面
日本経済のあゆみ	前期	金5	谷ヶ城 秀吉	対面
日本経済のあゆみ	前期	月2	永江 雅和	対面
世界経済のあゆみ	後期	木1	新兼任	対面
世界経済のあゆみ	後期	金5	竹内 祐介	対面
経済学のあゆみ	前期	木2	恒木 健太郎	対面
経済学のあゆみ	前期	金1	松井 暁	対面
人間と経済	後期	金4	松井 暁	対面
人間と経済	後期	金3	松井 暁	対面
社会と経済の理論 1	前期	火2	新田 滋	対面
社会と経済の理論 2	後期	火2	新田 滋	対面
社会と経済の理論 1	前期	月2	松井 暁	対面
社会と経済の理論 2	後期	月2	松井 暁	対面
社会と経済の理論 1	前期	金5	清水 真志	対面
社会と経済の理論 2	後期	金5	清水 真志	対面
日本経済の論点	後期	木2	日臺 健雄	対面
世界経済の論点	前期	木2	日臺 健雄	対面
企業と銀行	後期	月3	坂口 明義	対面
財政と税制	前期	火2	徐 一睿	対面
福祉国家と福祉社会	前期	金 1	兵頭 淳史	対面
現代の労働問題	後期	金1	兵頭 淳史	対面
ミクロ経済学基礎	前期	水2	石原 秀彦	対面
ミクロ経済学基礎	前期	火1	新兼任	対面
マクロ経済学基礎	前期	月3	坂口 明義	対面
マクロ経済学基礎	前期	木3	坂口 明義	対面
経済地理 1	前期	月2	長尾 謙吉	対面
経済地理 2	後期	月2	長尾 謙吉	対面
環境経済論 1	前期	月3	泉 留維	対面
環境経済論 2	後期	月3	泉 留維	対面
環境経済論 1	前期	金2	泉 留維	対面
環境経済論 2	後期	金2	泉 留維	対面

【生活環境経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
都市経済論 1	前期	水2	長尾 謙吉	オンライン
都市経済論 2	後期	水2	長尾 謙吉	オンライン
農業経済論 1	前期	木2	野部 公一	対面
農業経済論 2	前期	水2	野部 公一	対面
社会運動論 1	前期	月2	森 啓輔	対面
社会運動論 2	後期	月2	森 啓輔	対面
社会保障論 1	前期	水3	小池 隆生	対面
社会保障論 2	後期	水3	小池 隆生	対面
生活経済論 1	前期	木3	鈴木 奈穂美	対面
生活経済論 2	後期	木3	鈴木 奈穂美	対面
労使関係論 1	前期	木5	栗原 耕平	対面
労使関係論 2	後期	木5	栗原 耕平	対面
経済とジェンダー 1	前期	水3	杉橋 やよい	対面
経済とジェンダー 2	後期	水3	杉橋 やよい	対面
財政学	前期	水1	徐 一睿	対面
財政社会学	後期	水 1	徐 一睿	対面
経済史の見方	後期	水2	恒木 健太郎	対面
日本経済史 1	前期	水2	永江 雅和	対面
日本経済史 2	後期	水2	永江 雅和	対面
日本経済史 1	前期	月2	谷ヶ城 秀吉	対面
日本経済史 1	前期	金1	谷ヶ城 秀吉	対面
日本経済史 2	後期	月2	谷ヶ城 秀吉	対面
日本経済史 2	後期	金1	谷ヶ城 秀吉	対面
西洋経済史 1	前期	木2	新兼任	対面
西洋経済史 2	後期	木2	新兼任	対面
西洋経済史 1	前期	木3	新兼任	対面
西洋経済史 2	後期	木3	新兼任	対面
地域と経済史	前期	月3	永江 雅和	オンライン
都市と経済史	後期	金3	小西 恵美	対面
環境と経済史	後期	月3	永江 雅和	オンライン
福祉と経済史	前期	木3	新兼任	対面
労働と経済史	前期	金 5	竹内 祐介	対面
経済発展論 1	前期	月1	田中 章喜	対面
経済発展論 2	後期	月1	田中 章喜	対面
現代資本主義論 1	前期	水3	新田 滋	対面
現代資本主義論 2	後期	水3	新田 滋	対面
進化経済学 1	前期	木2	西部 忠	対面
進化経済学 2	後期	木2	西部 忠	対面

【生活環境経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
金融システム論 1	前期	月4	坂口 明義	対面
金融システム論 2	後期	月4	坂口 明義	対面
世界経済論 1	前期	木3	森原 康仁	対面
世界経済論 2	後期	木3	森原 康仁	対面
現代社会と統計 1	前期	水2	杉橋 やよい	対面
現代社会と統計 2	後期	水2	杉橋 やよい	対面
ミクロ経済学	後期	月5	新兼任	対面
マクロ経済学	後期	金3	新兼任	対面
経済学史 1	前期	木4	恒木 健太郎	対面
経済学史 2	後期	木4	恒木 健太郎	対面
マネー論	後期	木3	坂口 明義	対面
地域通貨論	後期	火2	西部 忠	対面
地方財政論	後期	火2	徐 一睿	対面
現代市民社会論	後期	水4	板井 広明	対面
社会思想 1	前期	木4	板井 広明	対面
社会思想 2	後期	木4	板井 広明	対面
社会科学論 1	前期	木3	西部 忠	対面
社会科学論 2	後期	木3	西部 忠	対面
健康社会論	前期	木3	飯田 義明	対面
社会教養特別講座	前期	水5	森原 康仁	対面

【国際経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
国際経済入門 1	前期	金2	内川 秀二	対面
国際経済入門 2	後期	金2	塙 武郎	対面
国際経済入門 1	前期	金3	内川 秀二	対面
国際経済入門 2	後期	金3	塙 武郎	対面
現代経済入門 1	前期	金3	津布久 将史	対面
現代経済入門 2	後期	金3	大倉 正典	対面
現代経済入門 1	前期	金4	津布久 将史	対面
現代経済入門 2	後期	金4	大倉 正典	対面
経済原論基礎	前期	火2	田中 章喜	対面
経済原論基礎	前期	火2	田中 章喜	対面
経済原論	後期	火2	田中 章喜	対面
経済原論基礎	前期	火1	西部 忠	対面
経済原論基礎	前期	火1	西部 忠	対面
経済原論	後期	火1	西部 忠	対面
ミクロ経済学基礎	前期	火1	石原 秀彦	対面
ミクロ経済学基礎	前期	火1	石原 秀彦	対面
マクロ経済学基礎	後期	火1	吉田 雅明	対面
マクロ経済学基礎	後期	火1	吉田 雅明	対面
ミクロ経済学基礎	前期	火2	石原 秀彦	対面
ミクロ経済学基礎	前期	火2	石原 秀彦	対面
マクロ経済学基礎	後期	火2	吉田 雅明	対面
マクロ経済学基礎	後期	火2	吉田 雅明	対面
国際経済論 1	前期	月2	津布久 将史	対面
国際経済論 2	後期	月2	矢野 貴之	対面
国際経済論 1	前期	月3	津布久 将史	対面
国際経済論 2	後期	月3	矢野 貴之	対面
世界経済史 1	前期	月2	永島 剛	対面
世界経済史 2	後期	月2	永島 剛	対面
国際関係論 1	前期	金1	狐崎 知己	対面
国際関係論 2	後期	金1	狐崎 知己	対面
貿易論	後期	木4	小川 健	対面
多国籍企業論	後期	金3	小川 健	対面
国際金融論	前期	金1	大倉 正典	対面
国際マクロ経済学 1	前期	木1	大倉 正典	対面
国際マクロ経済学 2	後期	木1	大倉 正典	対面
国際労働経済論	前期	月3	岩佐 卓也	対面
発展途上国経済論	後期	水2	傅 凱儀	対面
国際経済と地域	前期	火5	岩佐 卓也	対面

【国際経済学科開講科目一覧】

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
アメリカの経済	前期	水3	塙 武郎	対面
ヨーロッパの経済1	前期	月3	小西 杏奈	対面
ヨーロッパの経済2	後期	木2	永島 剛	対面
アジアの経済1	後期	水2	大橋 英夫	対面
アジアの経済2	後期	火2	大橋 英夫	対面
ラテンアメリカの経済	前期	水2	狐崎 知己	対面
中東の経済	前期	金2	細井 長	対面
ロシアの経済	前期	金3	野部 公一	対面
スラブ・ユーラシアの経済	前期	金2	野部 公一	対面
アフリカの経済	前期	水2	傅 凱儀	対面
国際協力論1	前期	月2	稲田 十一	対面
国際協力論2	後期	月2	稲田 十一	対面
日米の経済関係	後期	水3	塙 武郎	対面
日本とアジアの経済関係	前期	木1	矢野 貴之	対面
経営の国際比較	後期	金3	新兼任	対面
労使関係の国際比較	後期	月3	岩佐 卓也	対面
経済統合論	後期	月3	小西 杏奈	対面
地球環境問題	前期	月2	泉 留維	対面
資源・エネルギー論	前期	木2	小川 健	対面
国際労働力移動	後期	金2	新兼任	対面
世界の農業問題	前期	水3	野部 公一	対面
経済人類学	後期	火2	傅 凱儀	対面
民族と宗教	後期	月2	アルマンスール アフマド	対面
経済社会と女性	後期	水3	飯沼 健子	対面

【国際経済学科開講科目一覧(事前に問い合わせが必要な科目)】

※「外国経済事情」「国際事情3」を聴講希望の場合は、事前に教務課経済学部
(TEL:044-911-1257) に必ずご連絡ください。性質上、正規学生が主となる
授業ですので、状況により聴講をお断りする場合があります。

科目	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
外国経済事情(英語)	前期	月2	田中 章喜	対面
外国経済事情(英語)	後期	月2	田中 章喜	対面
外国経済事情(フランス語)	前期	金3	新兼任	対面
外国経済事情(フランス語)	後期	金3	新兼任	対面
国際事情3(英語)	前期	金3	塙 武郎	対面
国際事情3(英語)	前期	金2	大倉 正典	対面
国際事情3(ドイツ語)	前期	水3	岩佐 卓也	対面
国際事情3(ドイツ語)	後期	水3	岩佐 卓也	対面
国際事情3(中国語)	前期	水3	大橋 英夫	対面
国際事情3(中国語)	後期	水3	大橋 英夫	対面
国際事情3(スペイン語)	前期	月2	砂山 充子	対面
国際事情3(スペイン語)	後期	月2	砂山 充子	対面
国際事情3(コリア語)	前期	水3	佐藤 厚	対面
国際事情3(コリア語)	後期	水3	佐藤 厚	対面
国際事情3(ロシア語)	前期	木3	野部 公一	対面

【ゼミナール一覧】

科目	テーマ	開講期	曜時	担当教員	授業運営方法
ゼミナール1	不平等と格差問題の国際的研究	前期	木4	飯沼 健子	対面
ゼミナール2		後期	木4	飯沼 健子	対面
ゼミナール1	食・環境・ジェンダーの社会思想	前期	木5	板井 広明	対面
ゼミナール2		後期	木5	板井 広明	対面
ゼミナール1	現代資本主義と労働	前期	月4	岩佐 卓也	対面
ゼミナール2		後期	月4	岩佐 卓也	対面
ゼミナール1	発展途上国の工業化	前期	金4	内川 秀二	対面
ゼミナール2		後期	金4	内川 秀二	対面
ゼミナール1	あなたのやりたいこと探し	前期	水4	小川 健	対面
ゼミナール2		後期	水4	小川 健	対面
ゼミナール1	地域経済の内発的発展と地域産業政策	前期	木4	河藤 佳彦	対面
ゼミナール2		後期	木4	河藤 佳彦	対面
ゼミナール1	ヨーロッパの経済・社会政策	前期	木4	小西 杏奈	対面
ゼミナール2		後期	木4	小西 杏奈	対面
ゼミナール1	ゲーム理論と政策・経営戦略への応用	前期	水4	高原 豪	対面
ゼミナール2		後期	水4	高原 豪	対面
ゼミナール1	古典と歴史から〈経済学の前提〉を考える	前期	水4	恒木 健太郎	対面
ゼミナール2		後期	水4	恒木 健太郎	対面
ゼミナール1	<進化>の視点で現代の経済を理解し、 現代貨幣制度、特に地域通貨や暗号通貨を考える。	前期	水3	西部 忠	対面
ゼミナール2		後期	水3	西部 忠	対面
ゼミナール1	現代日本の労働問題・社会政策	前期	金4	兵頭 淳史	対面
ゼミナール2		後期	金4	兵頭 淳史	対面
ゼミナール1	環境・国家・社会の変動と社会運動を現 代社会の諸問題を通して分析する	前期	木4	森 啓輔	対面
ゼミナール2		後期	木4	森 啓輔	対面
ゼミナール1	進化経済学・債務貨幣論・経済理論史研究	前期	金4	吉田 雅明	対面
ゼミナール2		後期	金4	吉田 雅明	対面

ゼミナールは一般的に、少人数（数名から30名程度）で行う授業です。
講義形式ではなく、報告・発言などを求められる、いわゆる参加形式の授業です。
日によって授業時間が延長されることもあります。
また、課外活動（夏期・春期休暇中の合宿など）が実施される場合もありますので、ご注意ください。

「ゼミナール」を聴講希望の場合は、事前に教務課経済学部（TEL:044-911-1257）に必ずご連絡ください。
性質上、正規学生が主となる授業ですので、状況により聴講をお断りする場合があります。